

「生活文化にふれよう」のイベントを開催しました！

～クリスマスリース作りとクリスマス料理の調理実習を行いました～

11月18日（日）、本学食物栄養棟にて地域の小学生とその保護者を対象に「生活文化にふれようークリスマスリース作りとクリスマス料理の調理実習ー」を開催しました。

この催しは、（公財）明治百年香川県青少年基金助成事業としての取り組みで、今年で8回目の開催です。食物栄養専攻の学生が中心となり、昨年度より子ども学科福祉ゼミの学生とのコラボで実施した取り組みです。今回は日本の行事としても定着しているクリスマスに着目し、「クリスマスリース作り」と「クリスマス料理」に関する内容と洋食を中心とするテーブルマナーに関する食育教室を行いました。また3年前より実施している子どもと学生だけで行うことで子どもを主役とする「クリスマス料理の調理実習」も行いました。

参加者は町内外の小学生が37名、保護者29名、学生スタッフ24名、教職員その他7名の総勢100名程度の参加でとても賑やかに実施することができました。

I. 子ども学科の学生による実習 ～クリスマスリース制作～

代表の食物栄養専攻2年生の尾野友香さんのあいさつの後、9時10分から子ども学科の学生によるクリスマスリース制作がありました。子どもたちは、はじめにリースの作り方の説明を聞き、学生たちのサポートを受けながら、各自で好きなところに飾りをつけながら作成していました。



II. 食物栄養専攻の学生による食育教室

食物栄養専攻の学生が、スライドを用い「テーブルマナー」についての説明を行いました。特にナイフとフォークの使い方について実演をしながら解説しました。つづいて「クリスマス料理について」世界のクリスマス料理についてのクイズを交えながら説明をし、クイズでは元気な手がたくさんあがって大変盛り上がりしました。



Ⅲ. 食物栄養専攻の学生によるクリスマス料理の調理実習

調理実習を食物栄養専攻の学生の指導のもと行いました。最初に調理方法について、学生が丁寧にわかりやすく説明しました。メニューはオニオンライス、グリルチキン、ワールドフサラダ、パンプキンポタージュ、うさぎりんごでした。料理はワンプレートにもりつけることとし、後片付けの食器を少なくしたり、子どもたち4名に対し2名の学生が補助につき指導しながら調理をしたことで、大きなトラブルもなく実施できました。

男の子でも包丁さばきの上手な子もいて、他の子どもたちの刺激になっているようで見学をしていた保護者の方からも、「もう少し料理の手伝いをさせてみたい。」との声が聞かれました。

また当日は、四国新聞の記者の方の取材があり、次の日の新聞に記事を掲載していただきました。それと、坂出市と宇多津町をエリアとする「香川放送網 (KBN)」の取材もあり、21日に「いきいきワイド」という番組内で5分程度にわたって放映されました。



Ⅳ. クリスマス料理の試食

見た目もおいしく、彩りよく盛りつけた料理をみんなで試食しました。ほとんどの子どもが残さずに完食していた。保護者の方にも別室で試食していただきました。子どもたちの笑顔がこの活動に取り組んで良かったと幸せな気持ちを与えてくれました。



Ⅴ. アンケート結果について

参加した子どもたちと保護者の方にアンケートに答えていただきましたのでその一部を紹介します。

【子どもたちの感想】

- ・リース作りが楽しかったです。ごはんや料理づくりもありありがとうございました。また来たいです。来年もお願いします。
- ・フォークを使って多分初めてご飯を食べたので、とても緊張しました。今日は詳しく教えてくれたので今後の

生活に生かしたいです。今日作ったクリスマス料理を家でもアレンジして家族と一緒に楽しいクリスマスになったらいいなと思いました。

- ・とてもわかりやすく教えてくれたのでわかりやすかったです。これからは今日教えてくれたことを生かしたいです。

【保護者の感想】

- ・いつもは料理をしたことがない子どもたちが本日の教室後どうなるか楽しみです。子どもたちもよい経験になったと思います。ありがとうございました。
- ・材料の準備、学生による子どもたちへのサポートなどしっかりされていて、安心してみていられました。また、子どもが興味を持って取り組める内容で子どもが楽しく活動できていました。ありがとうございました。
- ・子どもが主体的に行うことができとても良かったです。普段参観などいけないので様子が見られて良かった。
- ・家でゆっくり教えられていません。器用に包丁を扱っているお子さんがいて反省しました。
- ・テーブルマナーなどは教える自信がないので役に立つと思います。

VI. 写真撮影

最後に参加者の小学生と学生スタッフが記念として集合写真を撮影しました。



この取り組みへ4年連続で参加してくれている子や、2年連続で参加してくれている子は6名以上と大変この取り組みを楽しみにしてくれているというありがたい現状があります。

また、保護者アンケートでいただいた「地域の食材を生かしたもの」「簡単なもの」「小学生で作れるランチ」などの貴重な意見を参考にしながら来年度以降の取り組み内容を決定していきたいと考えています。

「文化の日」のある11月の開催とした「生活文化にふれよう」という主題を設定した取り組みは、学科の特色や専門性を最大限に活かした地域貢献活動です。学生の知識や技術、大学の設備などを地域に還元するためにも、今後も近隣の児童・保護者との交流を大切にできる研修会にしていきたいと思ひます。